

【第76回社会を明るくする運動 市長メッセージ全文】

みなさん、こんにちは。糸島市長の月形です。

今年で 76 回目を迎える“社会を明るくする運動”は、犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支えるために、全国で取り組まれている大切な運動です。

今年のテーマは、「保護司をはじめとする更生^{こうせいほご}保護ボランティアを広く知ってもらおう」です。

地域の最前線で活動されている保護司の皆さま、そして、糸島市更生保護女性会、九州大学 B B S ^{びーびーえすかい}会をはじめとする更生保護ボランティアの皆さまの存在は、まさに“地域のチカラ”そのものです。

市民のみなさんにも、ぜひこの機会に、その役割や活動を知っていただきたいと思います。

犯罪や非行の背景には、孤独や孤立などさまざまな困難があります。立ち直りを支えるためには、行政だけでなく、地域の理解と協力が欠かせません。

“社会を明るくする運動”は、特別な人だけが参加するものではありません。^{がいとうこうほう}街頭広報やイベントへの参加、そしてこの動画をご覧いただ

くことも、すべてがこの運動の大切な一歩です。

また、日々の暮らしの中でのあいさつ、見守り、声かけといった小さな行動が、犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支える大きな力になります。

あなたの一歩が、糸島の未来を明るくします。糸島市は、地域のみなさまと力を合わせ、誰一人取り残さない、安全で安心なまちづくりを進めてまいります。

ともに明るい社会をつくっていきましょう。みなさまのご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。